



岡 津



学校だより 10月号
 令和4年9月29日
 横浜市立岡津小学校
 校長 下畝 直人
 TEL 811-4104
 FAX 812-4586



「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

自分たちの手で学校行事を創る！ ～101年目の挑戦～

校長 下畝 直人

9月12日(月)の中休み、6年生の代表児童10名が校長室にやってきました。彼らは「校長先生、お時間ありますか？ 僕たちはイベント実行委員です。今年の運動会のことでお願いがあります。案を考えたので、校長先生に検討してほしいです。」と言って、運動会に関する二つの案を提案してくれました。彼らの想いは、「小学校生活最後の運動会、岡津っ子スポーツ DAYの前日にコロナ前のように全員で運動会をしたい。」というものでした。第一案は「①始めの言葉 ②鼓笛隊の演奏 ③応援合戦 ④各学年の演技 ⑤校長先生のお話し ⑥終わりの言葉」、第二案は「①始めの言葉 ②鼓笛隊の演奏 ③応援合戦 ④全校ダンス ⑤各学年の意気込みの発表 ⑥HARUKA ⑦校長先生のお話し ⑧終わりの言葉」です。どちらの案が第一希望なのかを聞くと、希望は第一案、時間がないのなら・・・と考えてくれたのが第二案でした。

新型コロナウイルス感染症の流行は学校の教育活動を大きく変えました。給食は全員が前を向いて黙食。水泳学習も声を出さずに行い、1mの間を空けなければなりません。区の球技大会が中止になったり遠足や体験学習が中止になったり・・・3年生以下の子どもたちは、給食は黙って食べる経験しかしていません。学校行事も時間を短縮したり密を避けるために保護者の参観を制限したりと未だに感染症対策は続いています。制限が続くことで様々なことが「できない」「やれない」という方向に意識が向いていると感じています。それだけに6年生が「できる」「やりたい」という提案をしてくれたことがとても嬉しく思いました。

岡津っ子スポーツ DAYの目標は、

- ◇様々な人とふれあい、親しむ中で自分の想いや願いを大切にし、一人ひとりの表現力を育てる。
 - ◇運動会に主体的に関わり、進んでより良いものを目指して活動する力を育てる。
 - ◇競技・係・応援活動などを通して、互いに認め合い、支え合い、相互理解を深める。
- です。6年生の行動はまさにその目標の達成に向けた行動です。

6年生の想いを受け、教職員で話し合いました。結果は「第一案でやってみよう！」ということになりました。6年生が自分たちの演技(HARUKA)する姿を下級生に見せるだけでなく、全員の演技の発表の場を設けてほしいと考えてくれたことが決め手となりました。翌日、話し合いの結果をイベント実行委員20名に伝えると、子どもたちからは拍手と歓声が上がりました。この新たなイベントの中心は6年生です。この前日イベントは『新(シン)・岡津フェスティバル』とイベント実行委員が名付け、教職員はその6年生のサポートに回ります。

101年目を迎える今年の運動会は新たな挑戦の運動会になりました。1年生はこれまで踊っていた『ソーラン節』から1日の生活を表現する1年生ならではの演技に挑戦します。『ソーラン節』は幼稚園、保育園の運動会でも踊ったことがあるという子どもたちの声が多かったからです。2年生は子どもたちが大好きな曲に乗って、元気にノリノリに踊ります。3年生は初めてカーブを回る80m走に挑戦します。4年生はプラットホーム事業で教えていただいたフラッグを使ったダンスに挑戦し、5年生は鳴子を使った創作ダンス「エイサー」を踊ります。

前日行う『新(シン)・岡津フェスティバル』は申し訳ありませんが、保護者の参観はありません。『新(シン)・岡津フェスティバル』は、「岡津っ子の 岡津っ子による 岡津っ子のための運動会」です。ご理解の程よろしく願いいたします。

